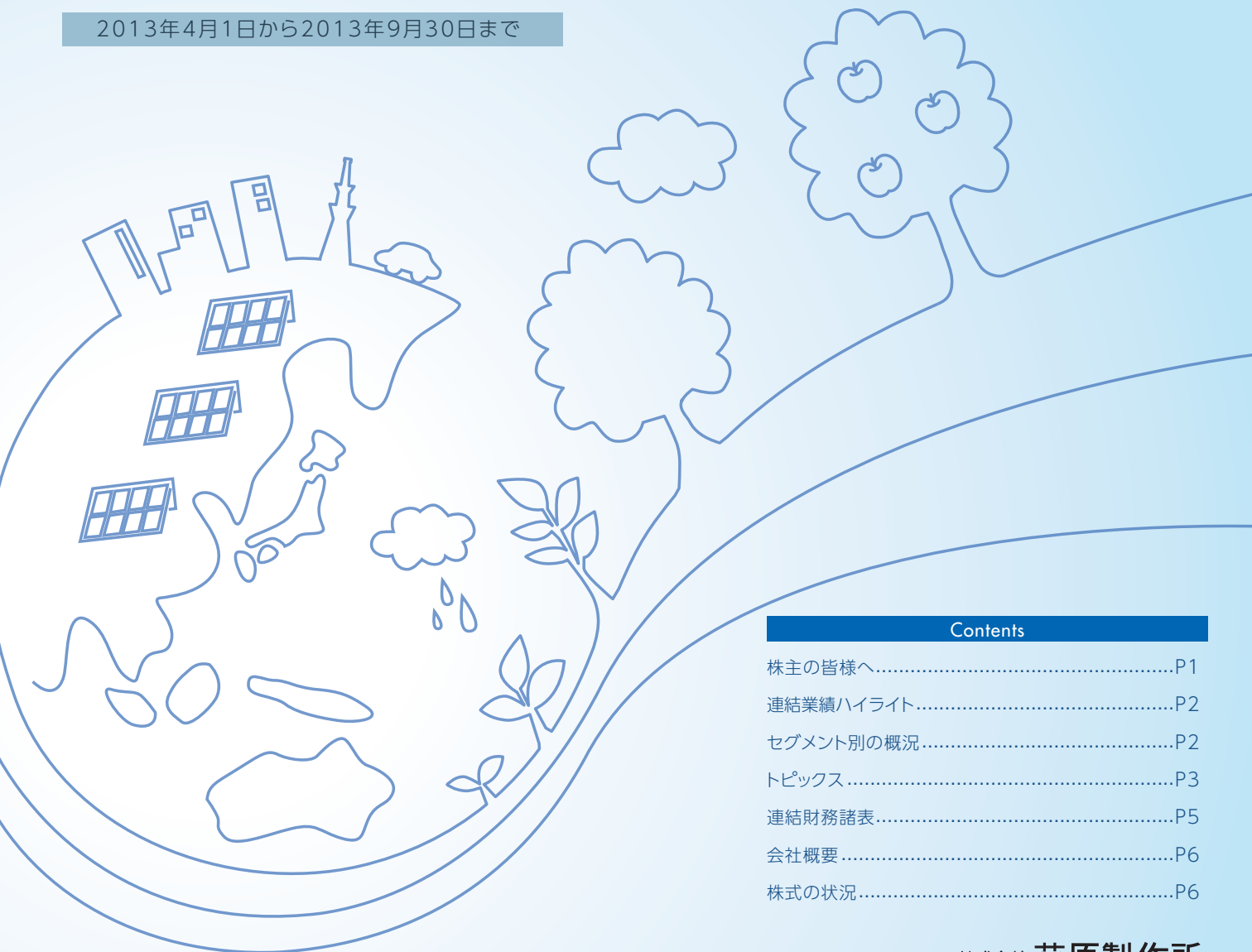


第149期 中間報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで



Contents

株主の皆様へ.....	P1
連結業績ハイライト.....	P2
セグメント別の概況.....	P2
トピックス.....	P3
連結財務諸表.....	P5
会社概要.....	P6
株式の状況.....	P6

株式会社 **荏原製作所**

証券コード：6361

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第149期第2四半期連結累計期間の当社グループの業績概況について

ご報告申し上げます。

事業環境は、米国において景気は引き続き緩やかな回復基調にあり、ヨーロッパでは一部に持ち直しの動きも見られます。アジアでは、引き続き一部に足踏みや減速が見られるものの、持ち直しの動きが見られる地域もあり、緩やかな拡大傾向が継続するものと見込まれます。

一方、国内では、公共部門の投資が堅調に推移し民間部門の設備投資にも持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復しつつある状況です。

このような経済情勢のもと当社グループは、市場のニーズや変化を的確かつ先見的に把握し卓越した技術をベースとして、風水力事業においては「製造業」と共に「サービス業」の側面における成長の機会を捉えるため、製品のライフサイクルを包括したサービス&サポート事業の強化・拡大を進めました。エンジニアリング事業においては、市場環境と顧客ニーズの変化に的確に対応するための諸施策を継続して推進しました。精密・電子事業においては、生産性向上によるリードタイム短縮や海外生産・海外調達を推進するとともに、顧客に密着したサービス&サポート体制を強化しました。

この結果、受注高及び売上高は、精密・電子事業で減少したものの、風水力事業、エンジニアリング事業の増加により、全体としては前年同期を上回りました。営業利益は、風水力事業とエンジニアリング事業で改善したものの、精密・電子事業が落ち込んだため、全体としては減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,748億2800万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は2億1200万円（前年同期比81.8%減）、経常損失は3800万円（前年同期比5億4800万円の悪化）、四半期純損失は16億2000万円（前年同期比5億6800万円の悪化）となりました。

中間配当につきましては、1株当たり2円50銭とさせていただきます。

当社グループは、2011年4月よりスタートした中期経営計画「E-Plan2013」の最終年度として、引き続き経営基盤強化の流れを推し進めるとともに、より確実に安定した事業構造を確立するべく、グループの中核事業において、グローバル競争力強化に取り組み、企業価値の最大化を追求してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月



代表取締役社長

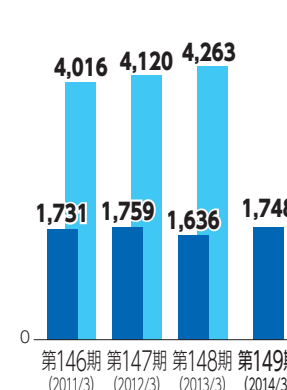
前田 東一

連結業績ハイライト

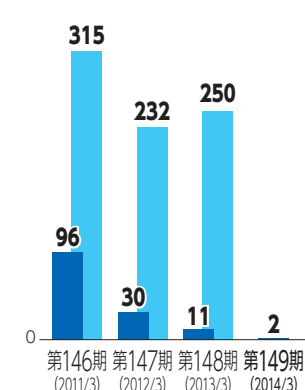
(単位：億円)

区分	第146期		第147期		第148期		第149期
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)
売上高	1,731	4,016	1,759	4,120	1,636	4,263	1,748
営業利益	96	315	30	232	11	250	2
経常利益	77	287	1	210	5	256	△0
四半期(当期)純利益	38	281	△3	28	△10	153	△16

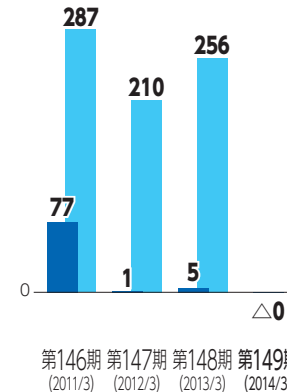
売上高 (単位：億円)
■第2四半期(累計) ■通期



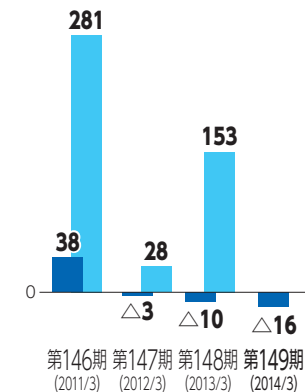
営業利益 (単位：億円)
■第2四半期(累計) ■通期



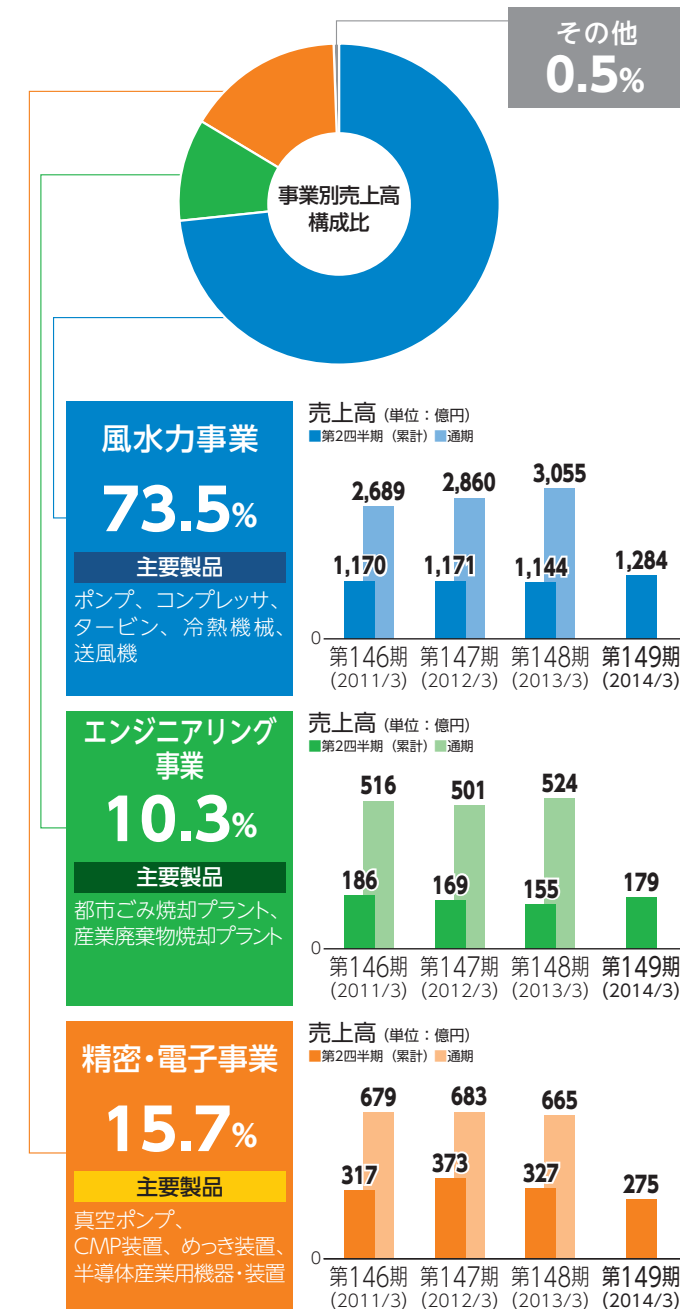
経常利益 (単位：億円)
■第2四半期(累計) ■通期



四半期(当期)純利益 (単位：億円)
■第2四半期(累計) ■通期



セグメント別の概況



加速するグローバル展開

風水力事業は、日本を始め世界の各地域において、人々の生活環境や地域産業を支える施設に多くの製品・サービスを提供してまいりました。そして、世界各地に設置した拠点の取り組みにより、その地域に事業を着実に根付かせ、お客様に密着した活動を積み重ねています。

その結果として2013年は、北米で液化天然ガス市場向けクライオポンプ等の製造・販売・サービスを行うEbara International Corporation(EIC)が創業40周年、東南アジアのタイでは標準ポンプ等風水力機械製品の販売・サービスを行うEbara (Thailand) Limitedが設立20周年、中国では大型ポンプやタービンの製造・販売・サービスを行う嘉利特^{ポンプ}原泵業有限公司(EGP)が設立10周年という節目の年を迎えることができました。



グローバル市場に向けて極低温ポンプの設計、組立・試験、販売、サポートを行うEIC



石油化学市場向けポンプ等の一貫生産（ casting・加工・組立・試験）体制を備えるEGP

さらに2013年度中に、ポンプ事業ではロシア、中東、東南アジア等に、冷熱事業では東南アジアに販売・サービス拠点を開設する予定です。コンプレッサ・タービン事業においては、中国、中東、インドなどに設置している拠点でサービス機能のさらなる強化を図ります。

主要事業であるポンプ事業、コンプレッサ・タービン事業、冷熱事業において、海外拠点の拡充を図るとともに、地域ごとのニーズにあった製品の提供と、きめ細かなサービス&サポートを一層強化することにより、世界のお客様のお役に立てるよう、風水力事業はさらなるグローバル化の加速を図っていきます。

新武蔵野グリーンセンター(仮称) 整備運営事業の受注



新武蔵野グリーンセンター(仮称)完成予想図

工エンジニアリング事業は、東京都武蔵野市より「新武蔵野グリーンセンター（仮称）整備運営事業」を受注しました。本件は、120トン/日の焼却施設、不燃・粗大ごみ処理施設及び常用コジェネレーション設備の整備と、2017年から2037年まで20年間の施設運営を行うものです。最新型のストーカ炉を採用した焼却プラントシステムは、高効率発電と環境負荷の低減を実現します。環境の保全に配慮した安全・安心な施設づくり、災害に強い施設づくり、景観及び建築デザインなどに配慮したコンパクトな施設づくりをコンセプトとし、地域との協働と安全で安定した運転による本施設の運営を通じて、『よりよいまちづくり』に貢献していきます。

ものづくりプロセス最適化への挑戦



みんなのドライポンプ活動：スピードを重視した1台流しライン



Mゼロチャレンジ活動：部品をジャストインタイムで作業者の手元に供給

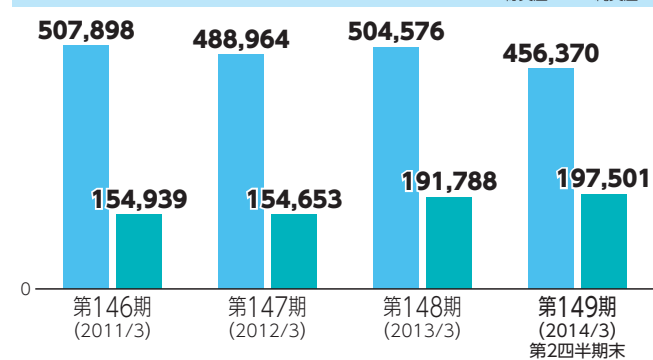
精精密・電子事業は、半導体業界における景気サイクルの影響を受けにくい安定した事業体質の確保のため、2009年から生産革新活動を推進し、ものづくりプロセスの最適化を図っています。当事業の主力製品であるドライポンプとCMP装置製造において、『みんなのドライポンプ活動』、『Mゼロチャレンジ活動』として、生産性2倍・受注から出荷までのリードタイム1/2を目標に、製造から販売に至る全員活動として取り組んでいます。従来の生産ラインを全面的に刷新し、1台ずつの進捗が見えるラインに改良したことで、ドライポンプでは製造リードタイム1/4、CMP装置では製造工数半減を達成しています。これら活動で得られた成功事例は、他製品や海外の生産拠点への展開も図っており、当事業における改善マインドの高い社員づくりにも活かしています。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 (2013年9月30日現在)	前期末 (2013年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	311,440	363,298
固定資産	144,929	141,277
有形固定資産	94,224	90,722
無形固定資産	7,198	6,889
投資その他の資産	43,506	43,665
資産合計	456,370	504,576
(負債の部)		
流動負債	200,069	245,730
固定負債	58,799	67,057
負債合計	258,868	312,787
(純資産の部)		
株主資本	191,995	194,758
資本金	68,620	68,613
資本剰余金	72,550	72,543
利益剰余金	51,196	53,886
自己株式	△372	△284
その他の包括利益累計額	△710	△7,873
その他有価証券評価差額金	2,308	1,662
繰延ヘッジ損益	12	11
為替換算調整勘定	△3,031	△9,547
新株予約権	648	547
少数株主持分	5,567	4,356
純資産合計	197,501	191,788
負債・純資産合計	456,370	504,576

総資産/純資産の推移 (単位:百万円)



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)
売上高	174,828	163,673
売上原価	134,092	126,978
売上総利益	40,736	36,694
販売費及び一般管理費	40,524	35,530
営業利益	212	1,164
営業外収益	1,189	1,362
営業外費用	1,439	2,016
経常利益又は経常損失(△)	△38	509
特別利益	62	23
特別損失	273	529
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△249	4
法人税等	662	380
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△912	△376
少数株主利益	707	674
四半期純損失(△)	△1,620	△1,051

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2012年4月1日から 2012年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,340	24,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,272	△6,635
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,633	△18,785
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,075	269
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,055	△1,031
現金及び現金同等物の期首残高	93,792	87,294
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	14	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	95,862	86,263

■ 創業 1912年11月
 ■ 設立 1920年5月
 ■ 資本金 686億2,072万4,423円
 ■ 従業員数 4,032名(連結:15,152名)

■ 役員

取締役会長	矢後 夏之助	執行役員	太田 公二
代表取締役社長	前田 東一	執行役員	廣野 清志
取締役専務執行役員	藤本 哲司	執行役員	井上 貴雄
取締役専務執行役員	辻村 学	執行役員	勝岡 誠司
取締役常務執行役員	大井 敦夫	執行役員	木村 憲雄
取締役常務執行役員	小淵 憲	執行役員	志賀 進
取締役常務執行役員	渋谷 勝	執行役員	浅見 正男
取締役常務執行役員	野路 伸治	執行役員	高野 稔
取締役	三國 陽夫	執行役員	小川原 万博
取締役	宇田 左近	執行役員	長木 健悟
取締役	並木 正夫	執行役員	喜田 明裕
取締役	国谷 史朗	執行役員	沖山 喜明
常勤監査役	山下 敏博	執行役員	白樫 充彦
常勤監査役	橋本 章	執行役員	松本 久男
監査役	町田 祥弘	執行役員	前原 隆史
監査役	高橋 文雄	執行役員	鳥海 和夫
監査役	卜部 忠史	執行役員	岩永 英徳
常務執行役員	伊藤 章	執行役員	山田 秀喜
常務執行役員	栗生 正太郎		
常務執行役員	寺垣 彰夫		

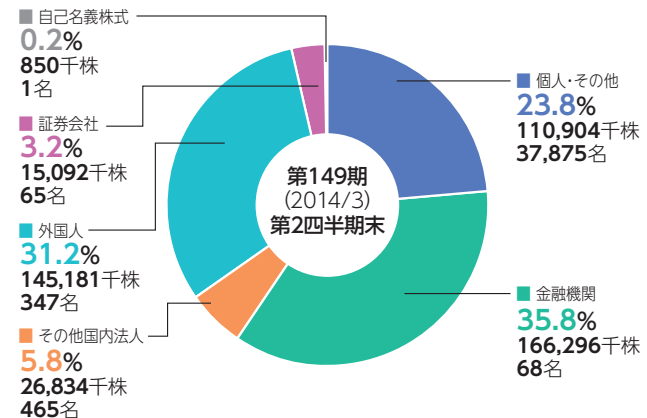
(注) 1. 取締役のうち、三國陽夫、宇田左近、並木正夫及び国谷史朗の4氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 2. 監査役のうち、町田祥弘、高橋文雄及び卜部忠史の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 発行可能株式総数 1,000,000,000株
 ■ 発行済株式の総数 465,160,829株
 ■ 株主数 38,821名
 ■ 大株主(上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,826	9.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	35,595	7.7
株式会社みずほ銀行	10,000	2.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	9,742	2.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,127	1.5
PICTET AND CIE (EUROPE) S. A.	6,718	1.4
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	5,144	1.1
日本生命保険相互会社	5,093	1.1
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	4,885	1.1
荏原製作所従業員持株会	4,749	1.0

(注) 持株比率は、自己株式(850,604株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況



- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 基準日 3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
- 配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先) ☎ **0120-782-031 (フリーダイヤル)**
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数 1,000株 上場証券取引所 東京証券取引所

2013年1月以降支払い分の配当金等より復興特別所得税が課税されることとなりました。詳細は国税庁のホームページ等をご覧ください。

復興特別所得税

検索

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

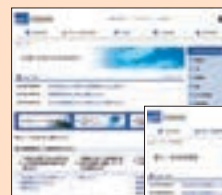
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

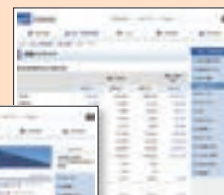
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

WEBサイトのご案内

当社のWEBサイトでは、製品情報からIR情報まで皆様に当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご活用ください。



CSR



財務ハイライト

株主・投資家情報

荏原製作所

検索

<http://www.ebara.co.jp>



株式会社 荏原製作所

〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

